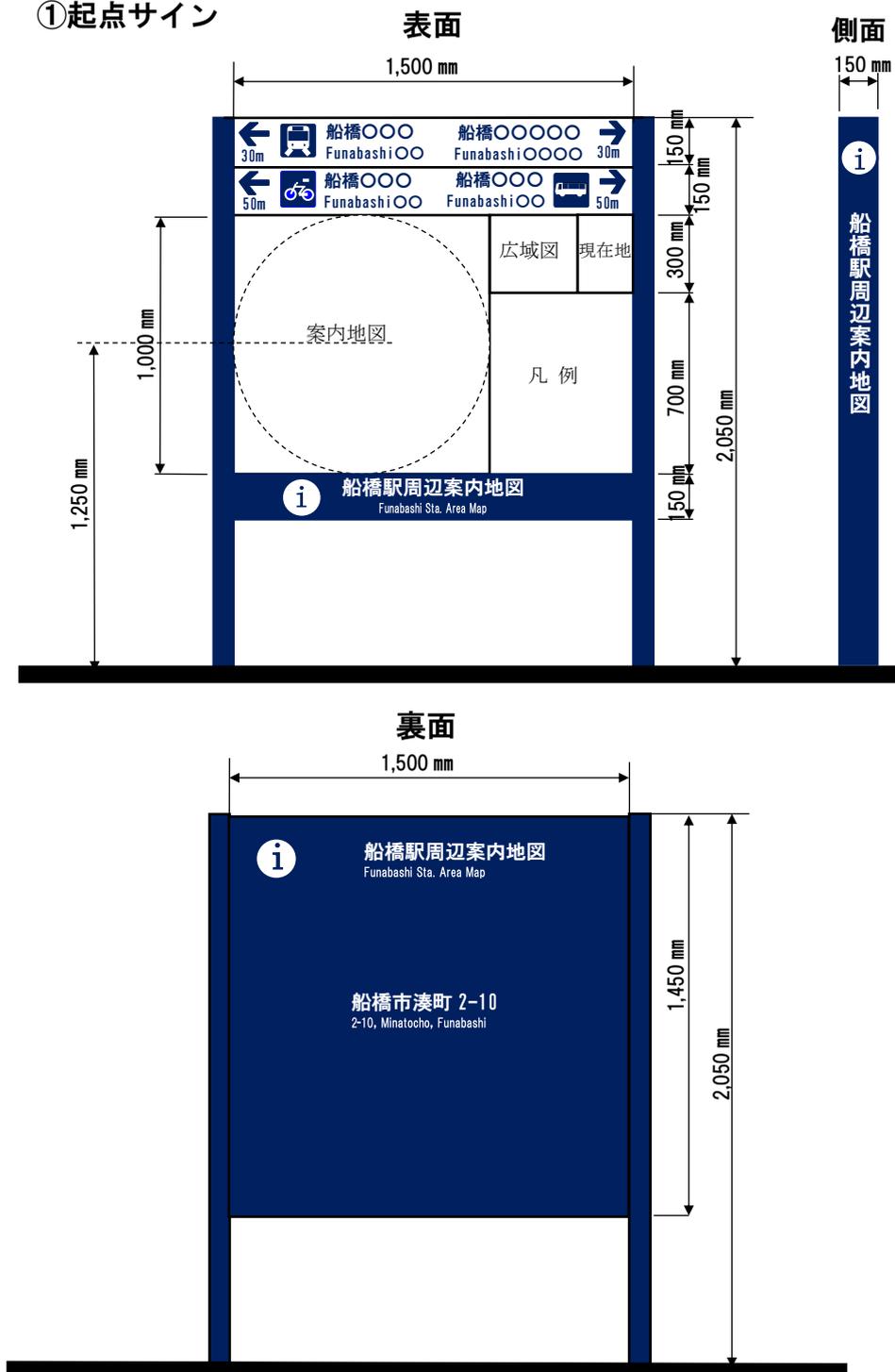


1. 案内サインの形状

(1) 案内サインの形状

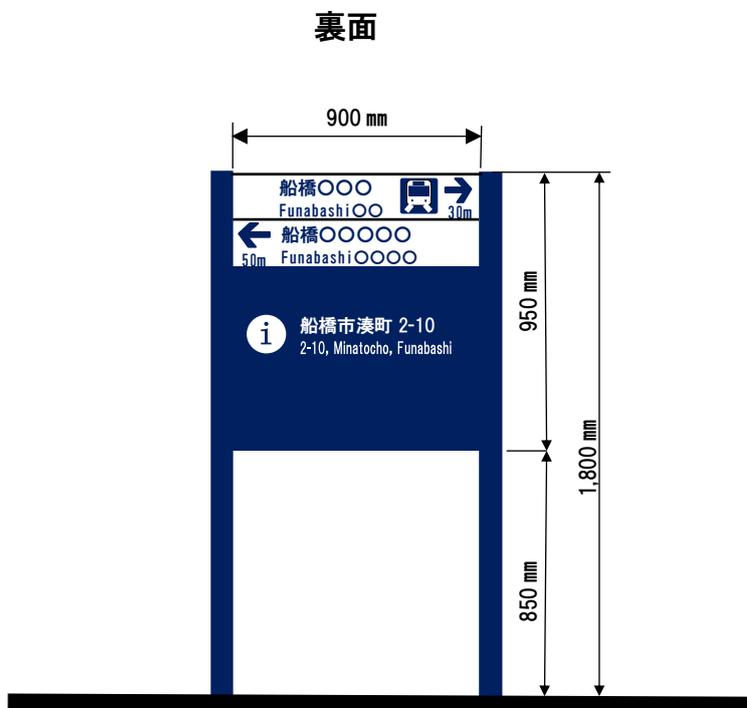
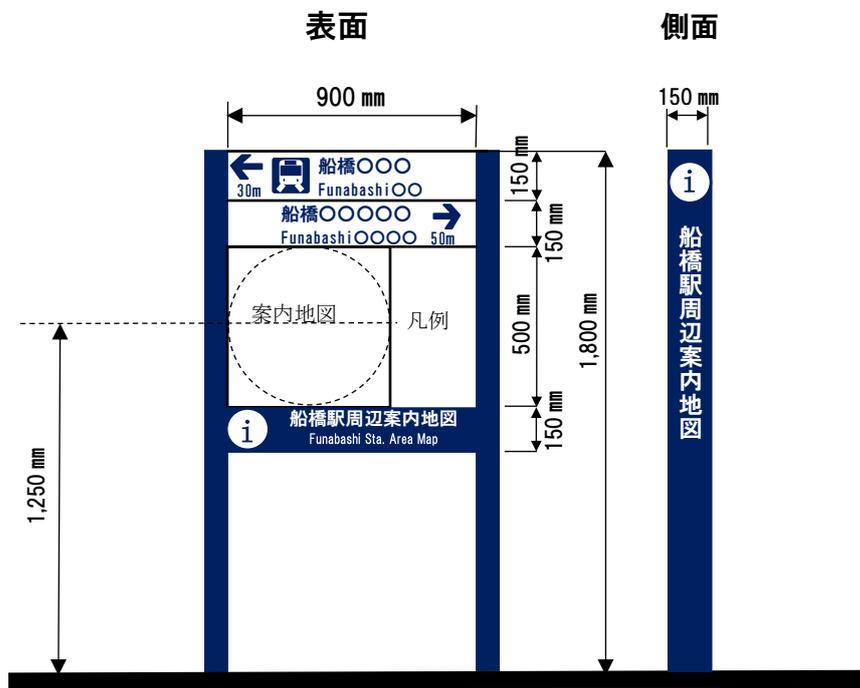
駅前等の起点で使用する起点サイン及び主要交差点や分岐点に設置する拠点サインの標準的な形状を以下のように示す。

① 起点サイン



- 形状**
- ・ 2 本支柱＋盤面
 - ・ 大きさ 1,500 mm × 2,050 mm
 - ・ 地図面の中心高さ 1,250 mm
- 表示内容**
- 表面
- ・ 案内地図
 - ・ 地図面 1 km 四方 (1/1,000)
 - ・ 広域図、誘導表示、凡例
 - ・ 現在地、**(i)** マーク
 - ・ 案内図名称
- 裏面
- ・ 住所表示
 - ・ **(i)** マーク
 - ・ 案内図名称
- 色**
- ・ 濃紺 マンセル値 5PB2/6

②拠点サイン



形状

- ・ 2本支柱＋盤面
- ・ 大きさ 900 mm × 1,800 mm
- ・ 地図面の中心高さ 1,250 mm

表示内容

○表面

- ・ 案内地図
- ・ 地図面 500m四方 (1/1,000)
- ・ 誘導表示、凡例
- ・ ⓘマーク、案内図名称

○裏面

- ・ 誘導表示
- ・ 住所表示
- ・ ⓘマーク

色

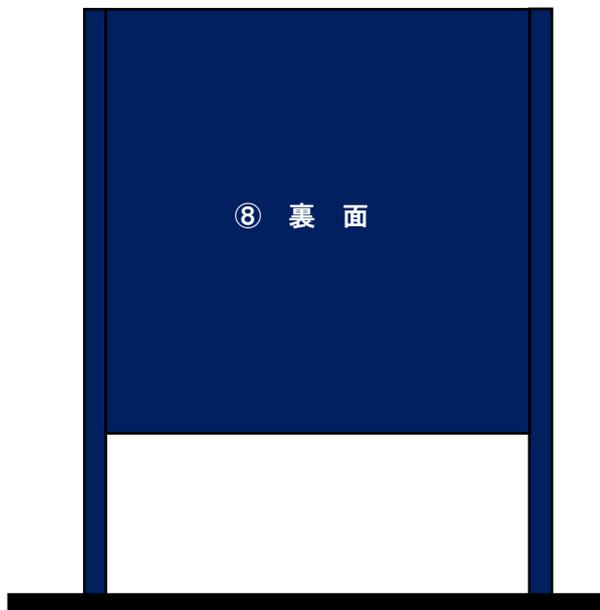
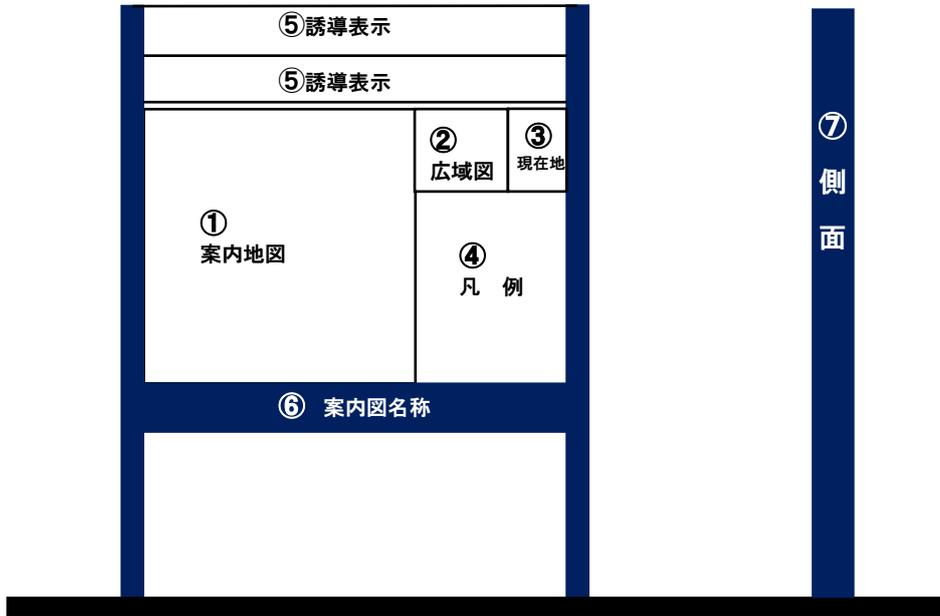
- ・ 濃紺 マンセル値 5PB2/6

(2) 案内サインの表示内容

表 案内サインの表示内容一覧

(単位：mm)

	サイン名称	起点サイン	拠点サイン	備考
①	案内地図	H1,000×W1,000 □1km 四方表示	H500×W500 □500m 四方表示	縮尺 1/1,000 2言語 日・英
②	広域図	H300×W300 □2km 以上四方	なし	縮尺 1/8,000 2言語 日・英
③	現在地	住所表示 H300×W200	なし	2言語 日・英
④	凡例	H700×W500	H500×W400	4言語 日・英・中・ハングル
⑤	誘導表示 (最上段)	2段4施設表示	2段2施設表示	文字の大きさについては、誘導サインの視距離15mの基準を参照 2言語 日・英
⑥	案内図名称	①マーク 地図名称	①マーク 地図名称	2言語 日・英
⑦	側面	①マーク 地図名称	①マーク 地図名称	1言語 日
⑧	裏面	①マーク 住所表示 地図名称	①マーク 住所表示 誘導表示	2言語 日・英



①案内地図

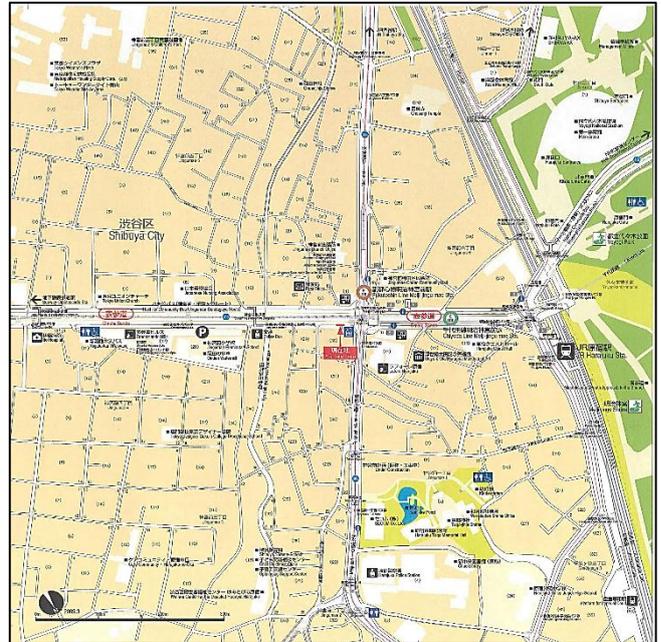
①A起点サイン

起点サインに表示する案内地図の範囲は、1 km四方とし、縮尺は1/1,000とする。

表示サイズ : H1,000 mm × W1,000 mm
表示範囲 : 1 km 四方
縮尺 : 1/1,000



案内地図の参考例



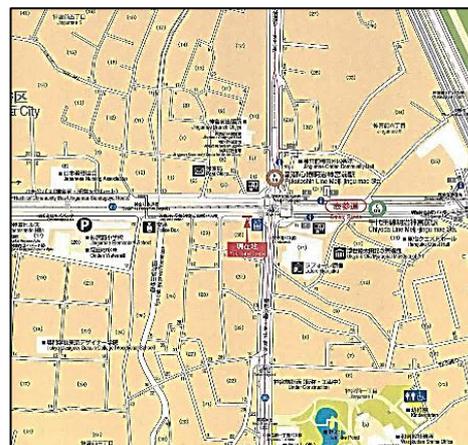
①B拠点サイン

拠点サインに表示する案内地図の範囲は、500m四方とし、縮尺は1/1,000とする。

表示サイズ : H500mm × W500mm
表示範囲 : 500m 四方
縮尺 : 1/1,000



案内地図の参考例



②広域図の表示（起点サインのみ）

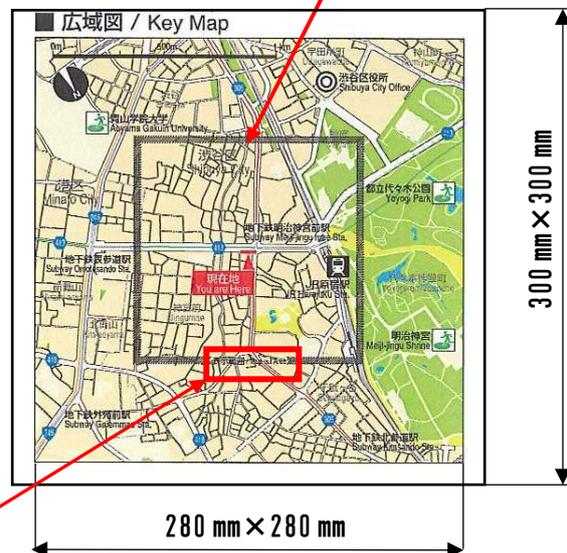
- ・案内地図の表示区域と表示区域外との関係を把握するため、表示区域を含む広域図を作成する。
- ・英語表記は「**Key Map**」とする。
- ・[■広域図/Key Map]の文字の大きさは、地図の文字サイズ「凡例部」の基準を参照する。

表示サイズ：H300 mm×W300 mm
 表示範囲：2 km以上四方
 縮尺：1/8,000

表示サイズ：H125mm×W125mm
 表示範囲：1 km 四方
 案内地図の範囲を囲い、下部に
 「<表示範囲/Map out Area>」と表記する。



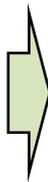
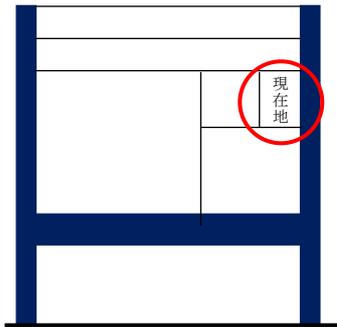
広域図の参考例



<表示範囲/Map out Area>

③ 現在地（起点サインのみ）

- ・ 現在地の住所を表記し、文字の大きさは、地図の文字サイズ「凡例部」の基準を参照する。
- ・ 英語表記は「Address」とする。
- ・ 現在地マークの大きさは和文 20 mm、英文 15 mm とする。

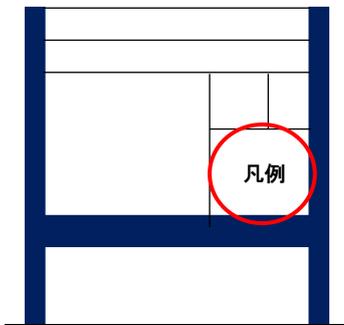


現在地の参考例



④ 凡例

- ・ 凡例にはピクトグラム等が示す情報の内容を表示する。
- ・ 言語表記は、日本語・英語・中国語・ハングルを基本とする。
- ・ 凡例の英語表記は「Legend」とする。
- ・ 文字の大きさは、地図の文字サイズ「凡例部」の基準を参照する。



凡例の参考例

■ 凡例 / Legend

	バス路線 / 停留所 / Bus Route / Bus Stop 公交车线路 / 公交车站 / 버스노선 / 정류소
	案内地図 / Information Map 导游图 (旅行用) / 안내지도
	国道番号 / National Highway Route No. 国道号码 / 국도번호
	県道番号 / Prefectural Highway Route No. 县道号码 / 현도번호
	エレベーター / Elevator 电梯 / 엘리베이터
	トイレ / Toilet 公共厕所 / 화장실
	広域避難場所 / Safety Evacuation Area 安全避难场所 / 대피소
	官公庁 / Govt. or Munic. Offices 政府机关 / 관공청
	鉄道駅 / Railway Station 铁路车站 / 철도역
	駐車場 / Parking 停车场 / 주차장
	病院 / Hospital 医院 / 병원
	警察署 / 交番 / Police Station / Police Box 警察局 / 派出所 / 경찰서 / 파출소
	郵便局 / Post Office 邮局 / 우체국
	博物館 / 美術館 / 資料館 / Museum 博物馆 / 美术馆 / 资料馆 / 박물관 / 미술관 / 자료관
	大規模店舗 / Large-scale Retail Store 大型商场 / 대규모점포
	銀行 / Bank 银行 / 은행

⑤その他の情報

案内サインの対象となる施設の情報やその他行政情報等を周知する必要がある場合、QRコードを凡例部の空白スペース（右下を推奨）に、設置することができる。

(3) 案内地図・広域図の共通事項

① 地図表示の使用色

案内図の使用色は、下表に示すとおりとし、地図標識の色彩は、出力機器(プリンター等)により色彩が変わるため、各 Pantone No.の色見本に近い色彩を選択する。

表 案内地図の使用色

区分	施設名	色彩例	色 (Pantone No.) 及び仕様	(参考)CMYK 値※
緑地	森		Pantone 376C 枠線 無し	→60-0-100-0
	公園・緑地		Pantone 390C 枠線 無し	→40-0-100-0
	緑道		Pantone 5865C 枠線 無し	→0-0-30-10
	水域 湖、池、河川		Pantone 292C 枠線 無し	→50-10-0-0
施設	敷地		Pantone 467C 枠線 線幅 0.1 mm Pantone Process Black	→10-20-40-0 →0-0-0-100
	名称表記 一般施設		Pantone Warm Gray1C 枠線 無し	→0-0-0-10
	名称表記 大規模競技場		Pantone Warm Gray1C 枠線 線幅 0.2 mm Pantone Process Black	→0-0-0-10 →0-0-0-100
	駅舎 高架等		Pantone Warm Gray1C 枠線 線幅 0.2 mm Pantone Process Black	→0-0-0-10 →0-0-0-100
	地下鉄、駅 地下街		Pantone 420C 枠線 線幅 0.2 mm Pantone Cool Gray10C	→0-0-0-25 →0-0-0-72
	歩道橋 ペDESTリアンデッキ		Pantone Warm Gray1C 枠線 線幅 0.2 mm Pantone Process Black	→0-0-0-10 →0-0-0-100
道路	高速道路等		Pantone Warm Gray4C 枠線 線幅 0.2 mm Pantone Process Black	→30-30-30-0 →0-0-0-100
	モール (歩行者専用道路等)		Pantone 121C 枠線 無し	→0-10-70-0
現在地	現在地表示		Pantone Red 032C 枠線 無し 白文字表記	→0-100-100-0
鉄軌道	鉄道軌道		Pantone Cool Gray 9C 線幅 3.0 mm	→0-0-0-65
	地下鉄軌道 (トンネル部)		Pantone Cool Gray 9C 線幅 3.0 mm 破線	→0-0-0-65
	バス路線		Pantone Red 032 C 線幅 0.35 mm	→0-100-100-0
境界線	市境界線		Pantone Cool Gray 8C 線幅 2.0 mm 一点鎖線	→0-0-0-55
	町境界線		Pantone Cool Gray 8C 線幅 1.0 mm 破線	→0-0-0-55
	丁目境界線		Pantone Cool Gray 8C 線幅 1.0 mm 点線	→0-0-0-55
バリアフリー経路			Pantone Red 032 C 線幅 3.0 mm 点線	→0-100-100-0

出典：財団法人道路保全技術センター「地図を用いた道路案内標識ガイドブック」(平成15年)

※CMYK 値とは、C(シアン)M(マゼンダ)Y(イエロー)K(キー・プレート)の4成分によって色を表す値

表 その他の指定色

区 分	色彩	(参考)CMYK 値
安全色青		100-60-10-0
安全色緑		100-20-70-0
安全色黄		0-20-90-0
横断歩道		0-0-0-40
住所等グレー文字		0-0-0-65
歩道橋階段		0-0-0-55

出典：財団法人道路保全技術センター「地図を用いた道路案内標識ガイドブック」（平成 15 年）

②表示情報

- ・ベース図については、国土地理院の地形図(1/10,000)、船橋市の地形図(1/2,500)を用いることを原則とし、市販の住宅地図(1/1,500)を参考にする。
- ・ベース図及び施設の一覧表に「○」のある表示情報、絵文字(ピクトグラム)については、地図の見やすさを考慮し適宜選択する。

①案内地図表示

表 案内地図表示掲載情報一覧(ベース図)

地図に表示する一般的情報		表示の有無		広域図への表示	表示する記号
		基本となる地図 (ベース図)	名 称		絵文字 (ピクトグラム)
地形・地盤	山、湾、島、半島、河川、湖、池、堀、港、埠頭、運河、棧橋	○	○		
道 路	道 路	○	○	○	
	歩 道	○			
	歩行者専用道路等	○	○		
	ペDESTリアンデッキ 横断歩道橋	○	○		
	地下横断歩道・階段部	○	○		
	横断歩道	○			
	踏み切り	○			
地 点	インターチェンジ	○	○		
	信号交差点		○		
	有名な橋、トンネル等	○	○		
交通施設	鉄軌道路線	○		○	
	鉄軌道駅	○	○	○	
	駅出口		○		
	バス路線	○			
	バス等の公共交通機関 のターミナル				
	バス停		○		
	タクシー乗場				
境界線	市、区、町、街区	○	○		
	丁、番地		○		

表 案内地図表示掲載情報一覧(施設)

地図に表示する一般的情報		表示の有無		広域図への表示	表示する記号
		建物の影 (シルエット)	名 称		絵文字 (ピクトグラム)
案内所	案内所(有人)、情報コーナー				
公共施設	市役所	○	○	○	
	官庁又はその出先機関	○	○		■
	警察署・交番	○	○		
	郵便局	○	○		
	消防署	○	○		■
福祉関係施設	高齢者施設、福祉施設等		○		■
医療・ 保健衛生施設	病院	○	○		
	保健所		○		■
教育施設	小・中学校、高等学校	○	○		■
	大学・専門学校等	○	○		■
商業・ 業務施設	大規模なホテル及び旅館	○	○		
	大規模なデパート スーパーマーケット	○	○		
	銀行・信用金庫				
文化・学習・ スポーツ施設	市民文化ホール、公民館 図書館	○	○		■
	公園・緑地	○	○		■
	スポーツ施設 (体育館、運動場、競技場)	○	○		■
名所・旧跡	史跡、歴史的建造物 社寺仏閣等	○	○		■
その他	広域避難場所	○	○		
	公衆トイレ	○			

ピクトグラムとアイキャッチャー・マーク

地図に用いるピクトグラムは、標識令、標準案内用図記号一覧のデザインに準拠することを基本とし、ピクトグラムの無い施設は、視認性を高めるため「■」を使用して表示する。

※アイキャッチャー・マークとは、ピクトグラムで表現することが難しい施設については、人の目を引き付けその場所に何らかの施設があることを確認できるよう「■」等で表記するもののことである。

㊤施設名称表示

- ・1つの施設に公共公益施設が複数ある場合は、その複合施設名を表記する。

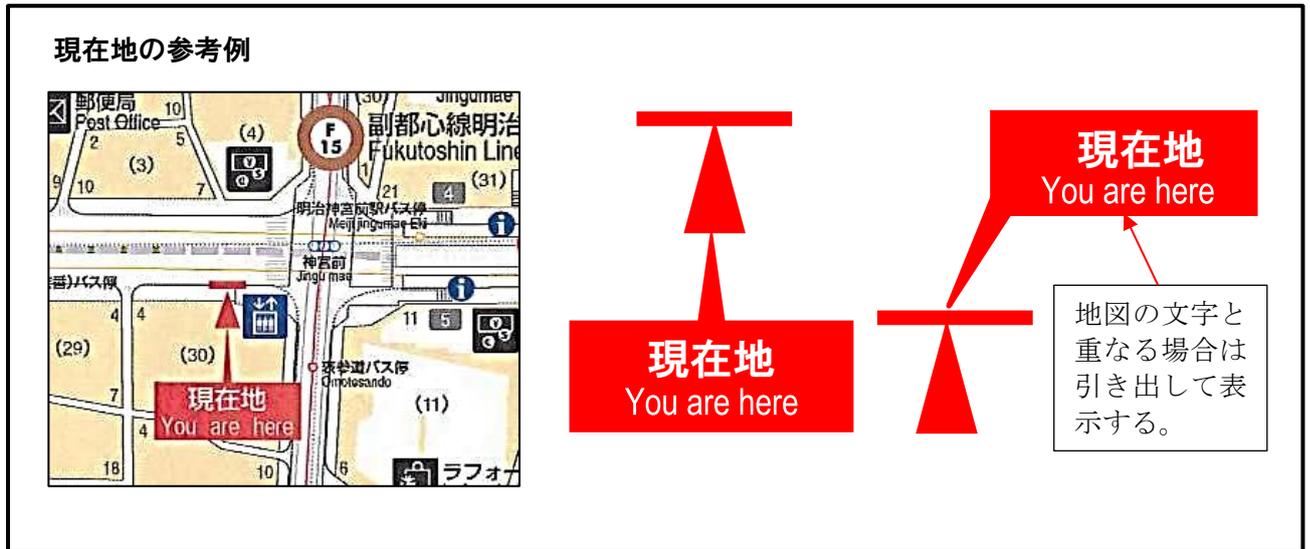
参考例	船橋スクエア 2 1 Funabashi square 21
------------	---

- ・複合施設内の各施設については、地図内に表記する。

参考例	船橋スクエア 2 1 Funabashi square 21 <ul style="list-style-type: none">・茶華道センター Tea ceremony & Flower arrangement Center・市民ギャラリー Citizen's Gallery
------------	--

③現在地

- ・現在地の表記は、利用者が向いている方向を考慮する。
- ・英語表記は「You are here」とする。
- ・現在地のマークの大きさは、和文9mm 英文7mmとする。
- ・案内地図及び広域図に表示する。



④バリアフリー情報

④Aバリアフリー経路

- ・障害を持った利用者が概ね移動できるバリアフリー経路を 3.0mm 線幅朱赤系の点線で表記する。



- ・英語表記は、「Accessible Route」とする。
- ・バリアフリー経路については、「船橋市移動円滑化基本構想」を参考とし、表記する。



出典：財団法人道路保全技術センター
「地図を用いた道路案内標識ガイドブック」（平成 15 年）

③エレベーター

- ・エレベーターは、ピクトグラムで表記する。
- ・ピクトグラムについては、車いす対応と未対応の場合で区別する。
- ・時間制限のあるエレベーターについては「使用可能時間」を併記する。



④公衆トイレ

- ・公衆トイレは、ピクトグラムで表記する。
- ・身体障害者の利用が可能な施設は、身障者用設備付ピクトグラムを表記する。
- ・時間制限のある公衆トイレについては「使用可能時間」を併記する。



⑤方位・スケール

- ・案内地図及び広域図内の角にバースケールと方位を配置する。
- ・方位について、案内地図は直径 45 mm とし、広域図は直径 27 mm とする。

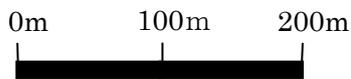
広域図の参考例



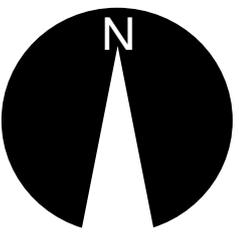
起点サインの案内図の参考例



拠点サインの案内図の参考例



方位の参考例

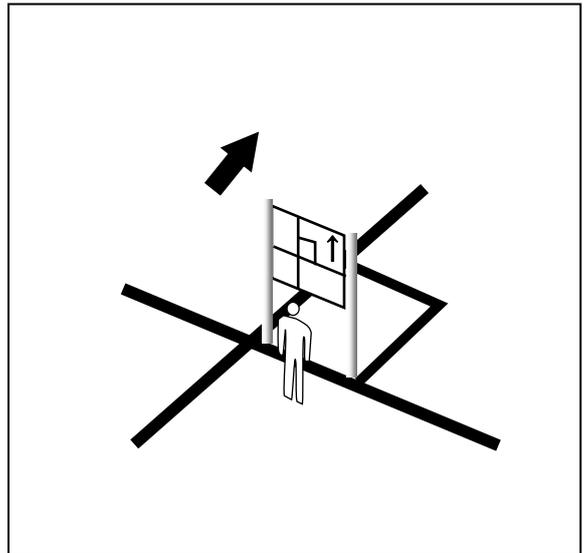


⑥設置時期と設置者の記載

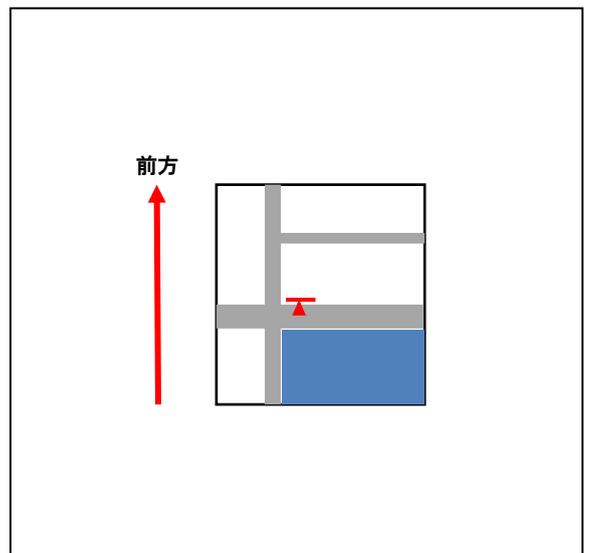
- ・案内地図の管理者を明らかにするため、第4章に規定する維持管理用ステッカーを貼る。なお、ステッカーには、設置年月日、管理者等が記載される。

⑦表示面の向き

- ・案内サインは、サインに向かって前方を上として表示する。



- ・案内図の向きは、現在地からの移動方向を伝えやすくするため、現在地の表示は、利用者が見ている方向をわかるようにし、案内図の向きを合わせるものとする。



⑧案内サインの表面加工

- 案内サインの表面・裏面は、貼紙及び落書きの防止加工を行う。

(4) 文字サイズ

① 地図の文字サイズ

案内地図に用いる文字のサイズは、1mの距離を置いて可視できる数値として、和文9.0mm、英文7.0mmを基本サイズとして設定する。ただし、絵や記号等、情報が多い地図に表示することに配慮が必要で、やむを得ない場合は、最小サイズ和文5.0mm、英文4.0mmとすることができる。

a) 基本サイズ（視距離1m）

表 地図の標準文字サイズ

	ピクトグラム	和文文字高	英文文字高	表示施設
凡例部	24.0 mm	10.5 mm	8.0 mm	凡例部
特大サイズ	—	18.0 mm	14.0 mm	県名、市名
基本サイズ 視距離(1m)	21.0 mm	9.0 mm	7.0 mm	上記以外

※ 町名、丁目、番地は濃鼠色表示とする

出典：財団法人道路保全技術センター「地図を用いた道路案内標識ガイドブック」（平成15年）

b) やむを得ない場合（視距離 0.5m）

表 地図の文字サイズ

	ピクトグラム	和文文字高	英文文字高	表示施設
凡例部	24.0 mm	10.5 mm	8.0 mm	凡例部
特大サイズ	—	18.0 mm	14.0 mm	県名、市名
大サイズ	21.0 mm	9.0 mm	7.0 mm	案内所、情報コーナー、 県庁、市役所、博物館、 美術館、ホール等
中サイズ	16.5 mm	7.0 mm	5.5 mm	郵便局、交番、病院、 デパート、ホテル、埠 頭、踏切等、町名、丁 目
中小サイズ	—	—	5.0 mm	番地
小サイズ	12.0 mm	5.0 mm	4.0 mm	橋梁名、交差点名、歩 道橋名、バス停名、広 域図の情報

※ 町名、丁目、番地は濃鼠色表示とする

出典：財団法人道路保全技術センター「地図を用いた道路案内標識ガイドブック」（平成 15 年）

(基本サイズ) 9 mm  7 mm 

(最小サイズ) 5 mm  4 mm 

ピクトグラムと文字の組合せ比率



② 案内サインの誘導表示の文字サイズ

サインの誘導表示部分については、誘導サインの視距離 15 m の基準を参照する。

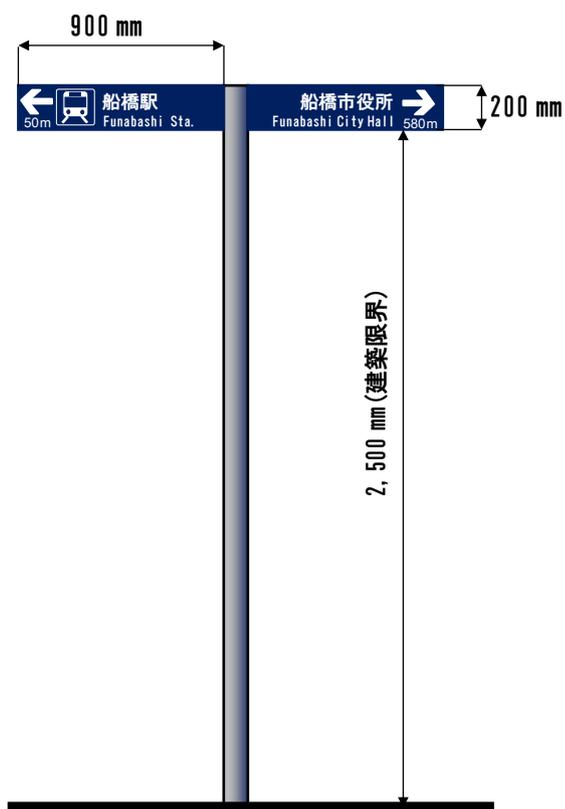
2. 誘導サインの形状

(1) 誘導サインの形状

誘導サイン(矢羽型)

標準的な形状

- ・ 盘面
高さ 200mm 幅 900mm
路面からの高さ 2,500 mm(歩道の場合)
※歩道以外の場合は別途考慮
- ・ 表示内容
矢印・ピクトグラム・施設名・距離
- ・ 色
濃紺 マンセル値 5PB2/6



- ・ 誘導サインの支柱は製品本体の色とし、形状は連続性、統一性に配慮したものとする。

(2) 表示面とデザイン

① 表示の方法

- ・誘導サインは、目的地までの矢印、ピクトグラム、施設名、距離を併記する。なお、施設を表すピクトグラムがない場合は、名称を詰めて表示する。

誘導サインの参考例



② 距離表示

- ・距離表示が2桁または3桁の場合は、一の位を四捨五入し、4桁の場合はkmで表記する。

2桁の場合	一の位を四捨五入	48m→50m
3桁の場合	一の位を四捨五入	486m→490m
4桁の場合	十の位を四捨五入、kmで表記	1,486m→1.5km

③ 施設の表示順位

- ・施設の表示順位は、施設までの距離が近い順に上から表示していくものとする。



(3) 文字サイズ

誘導サインは、利用者の遠距離からの視認性を重視し、20mの距離から可視できる数値として、ピクトグラム 180 mm角、和文 80 mm、英文 60 mmを標準とする。

なお、現地の状況によりガイドラインで示す盤面の大きさが確保できない場合は、盤面を小さくし、視距離 15mの文字の大きさとする事ができる。その際の盤面は(H150mm×W750mm)とする。

表 視距離と文字の大きさの目安

視距離	ピクトグラム	矢印	和文文字高	英文文字高	距離表示
20m	180 mm	120 mm	80 mm	60 mm	30 mm
15m	135 mm	80 mm	60 mm	45 mm	30 mm

誘導サインの表示 参考例 900×200



誘導サインの表示 参考例 750×150



3. ユニバーサルデザインへの配慮

第1章基本的な考え方に基づくユニバーサルデザインとして、高齢者、障害者、外国人等、全ての方にやさしい表示となるよう配慮する。

(1) 公共サインへの表示

①文字

公共サインで使用する文字は、高齢者・障害者等に配慮して通常より遠くから見える大きな文字とし、視認性や可読性に優れ文字にメリハリのある書体とする。

②色

色は、色覚障害者にも配慮して、図色と地色の明度差を大きくして、見分けやすい配色とする。

③盤面の大きさ

視力の弱い人に配慮して、表示面から50cmの距離で見渡せる範囲が最大で1m四方であるため、案内地図の大きさを1m四方とする。

④多言語表記

本市を訪れる外国人に配慮して、起点サイン・拠点サインの凡例を日本語の他、英語、中国語、ハングルを含めた4カ国語表記とする。

⑤ピクトグラム

高齢者、障害者、外国人等、誰にでも地図を分かりやすくするよう、案内地図内の施設表示は、直感的に施設や機能の意味を伝えるピクトグラムとする。

⑥盤面の高さ

案内地図の盤面の高さは、健常者だけでなく、車いす使用者にも配慮して、路面から1.25mの高さを盤面の中心とする。

(2) 視覚障害者への対応

視覚障害者に対するサインとして触知案内図が設置されているが、点字案内で誘導できるのは駅前広場内のような限られた範囲となっている。

バスやタクシー乗場への乗り換え機能がある駅前広場に設置する案内サインには、駅前広場の触知案内図を併設し、音声案内については必要に応じ設置する。なお、視覚障害者に対する案内サインを設置する場合は、サインまでの誘導ブロックを設置する。

触知案内図の参考例（新京成線北習志野駅）



触知案内図の設置に際して

- ・触知案内図の範囲は、最大で横 1,000 mm以内を原則とする。また 1つの触知案内図は最大で横 600 mm以内を原則とする。
- ・触知案内図の設置高は、触知案内図の範囲の中心が床から 1,400 mm程度となる位置にする。ただし、床と水平、又はそれに近い角度となる傾斜面に取り付ける場合にはこの限りではない。
- ・現在地のマークは、他の凸より高くし、特に目立たせることが望ましい。
- ・触知案内図の説明文は、触知案内図の左または上とする。記載内容は、「案内図のタイトル」「建物の概略説明」「図上での現在地の位置」「凡例」とし、簡潔な表現で表記することが望ましい。
- ・触知案内図は誘導ブロックや音声チャイムを設置して誘導することが望ましい。

出典：社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会

「視覚障害者の安全で円滑な行動を支援するための点字表示等に関するガイドライン」（平成 14 年）